

ヨシゴイ（サギ科） 全長 36.5 センチ

今年も大曲の飯田沼にヨシゴイがやって来た。

10年程前、この沼で初めて見つけて以来、付き合いが始まりました。名前の由来となったヨシが伸びだす頃の、5月下旬から6月夏鳥として飛来します。

日本のサギ類では一番小さく、ハトぐらいの大きさしかありません。ヨシの茎を足指で掴んで茎から茎へと巧みに伝い歩き、ヨシ原から飛び出すことが少ないことから見つける機会は少なく、鳥類の忍者などとも呼ばれています。



首を長く伸ばして緊張の一瞬。

6月27日早朝、野鳥の会会員9人が飯田沼に集合。沼には既に数人の釣り人が陣取っていた。

こうした状況であったが、ヨシゴイは我々の目の前10m程の近距離に飛来してきました。私たちの視線やカメラのレンズを向けられても、ほとんど警戒していません。ヨシゴイは沼岸から首を長く伸ばして、水中を覗き込んでいた。

一瞬の早業で、クチバシには魚をゲット。岸边を移動しながら、水中に嘴を刺し込みながら何匹もの魚を捕らえていた。



見事に魚を捕らえた。



この後、一気に飲み込んだ。

一旦ここから飛び去ってしまったが、まもなく対岸から同じ場所に降り立った。

睡蓮の葉がびっしりと水面に浮かんでいることから、この下に魚の隠れ場所があるのでしょうか。軽い体と長い足指で、睡蓮の葉っぱの上を自由に歩き回っていた。

長い付き合いであったが、こんなに近い距離で眺めるのは初めてである。今のところメス 2 羽だけしか確認されていませんが、やがてオスも飛来すると子育ての季節がやってくることでしょう。

絶滅危惧種に指定されるヨシゴイ。今年も順調にヒナを育ててもらいたいところです。



睡蓮の花が良く似合います。



ここでも生きのいい魚を捕らえ、美味しそうに飲み込んだ。